

## 平成12年3月期業績見通し及び中間配当の見送りについて

### 1. 業績見通し及び中間配当の見送りについて

当社の第146期（平成12年3月期）中間決算、及び年度の業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

当上半期のわが国経済は、公共投資や住宅投資等の下支えにより、景気に下げ止まり感が出てまいりましたものの、個人消費は回復感に乏しく、企業の設備投資も抑制傾向が続くなど、総じて厳しい状況の中で推移いたしました。

鉄鋼業におきましては、アジア経済復調を背景に、輸出は大幅に増加しておりますが、国内需要は依然低水準にとどまっております。

また、総合エンジニアリング事業におきましても、民間需要の不振等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、昨年より事業構造の抜本的見直しによる事業の再編・撤退に加え、徹底した固定費削減やコア事業の収益力強化などに、全社をあげて取り組んでまいりました。不採算部門からの撤退につきましては既に実施済みであり、昨年12月に発表いたしました事業特性に応じた分社運営の推進も、本年9月の京浜製鉄所における溶接管事業の分社化をもって、完了する予定であります。また、要員スリム化による労務費削減等のコスト合理化につきましても、計画通り順調に進んでおります。

当中間期の損益状況につきましては、これら収益改善策の実施効果に加え、鉄鋼部門におけるアジア向け出荷増等により、経常利益は50億円程度、当期利益は30億円程度と、前回見通しに比べそれぞれ30億円程度好転する見込みであります。

一方、下半期につきましては、好調なアジア向け輸出への期待はあるものの、民間需要の回復遅れ等の懸念もあり、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況から、通期の業績見通しにつきましては、経常利益は230億円程度、当期利益は30億円程度と見込んでおります。

以上の状況を踏まえ、当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ながら、本日の取締役会において、その実施を見送らせていただくことに決定いたしましたのでお知らせいたします。

		売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
今 回 見 通 し	当中間期	4,600億円	50億円	30億円
	通 期	10,100億円	230億円	30億円
前 回 見 通 し (平成11年5月24日)	当中間期	4,600億円	20億円	0億円
	通 期	10,200億円	200億円	0億円
(参考)前期実績	中 間 期	4,568億円	95億円	300億円
	通 期	10,136億円	277億円	503億円

## 2. 連結業績見通し

連結決算につきましては、連結業績の向上を目指し、グループとしても懸命な収益改善に努めておりますが、当期は、国内鉄鋼事業における増益はありますものの、米国鉄鋼事業の鋼材市況低迷による業績悪化により、経常利益は220億円程度、当期損失は420億円程度となる見込みであります。

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
今 回 見 通 し	17,500億円	220億円	420億円
前 回 見 通 し (平成11年5月24日)	17,900億円	250億円	400億円
(参考) 前 期 実 績	18,087億円	448億円	1,085億円

なお、当社といたしましては、引き続きグループ全体の収益力強化を図り、いかなる事業環境にも対応できる経営基盤を早急に確立すべく努力してまいり所存ですので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

- 以 上 -

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

N K K 秘書部広報企画グループ  
TEL 03 - 3217 - 2140